

報第24号

公益財団法人柏崎地域国際化協会経営状況報告書

令和3年（2021年）6月7日提出

柏崎市長 櫻井雅浩

令和3（2021）事業年度 事業計画及び予算

公益財団法人柏崎地域国際化協会 令和3年度事業計画書

柏崎市が東京オリンピックのホストタウンとなって進めていた諸外国との交流も、今年は実現すると考えています。柏崎を訪れる諸外国の方々に、柏崎の良さやおもてなしの心を感じてもらうためにも、通訳を含む人材育成に力を入れます。講座を開講する際には、安全を可視化して安心して参加していただけるように準備を進めます。

協会の設立目的は、多文化共生の地域づくりです。それは、世界の全ての人が、国や人種・文化の違いを越えて、お互いを認め合い、心豊かに暮らせる社会を作ることであると考えます。任意の団体として活動を始めた当協会は、今年設立25周年を迎えます。そして、公益財団法人となり10年目でもあります。設立当時と比べて、私たちを取り巻く社会の状況や、協会に求められることは大きく変化しています。地域が求める国際化施策を的確に捉え、災害時の外国人対応も含め、多文化共生をしっかりと意識した事業を進めていきます。

日本に住む外国人の方々に対して、地域の重要な担い手としての期待が高まっています。しかし、生活する上での苦労もあります。地域の方々と協働で、日本文化に基づく情報を、分かりやすく伝える工夫を進めます。日本人と外国人との理解の橋渡しができる協会でありたいと思っています。

国連の提唱する持続可能な開発目標SDGs(エスディージーズ)を意識して、目標に沿った活動を続けます。

公益目的 地域国際化事業

7,612千円

1 国際化に関する事業(定款第4条1項(1))SDGs



3,889千円

国際協力貢献

官公庁及び大使館提出書類の翻訳、柏崎市を多言語でPRするための事業等の翻訳通訳などに協力します。友好都市を含む世界の地域との交流に関する文書翻訳や通訳など、事業協力を行います。言葉の協力をすることで、人や国の不平等を無くすために協力します。

語学文化講座

人材育成のための講座で、英語(初級・中級)、中国語、韓国語を開講します。換気のできる教室で、密にならないよう座席などにも配慮し、講座を進めます。言語とともに、文化も学ぶことは、より深い理解につながり、言語の基礎を理解することになるからです。

多文化理解講座

日本の風習習慣も世界のことも知る講座です。外国出身者が柏崎地域で自信を持って活躍してほしい、住んでいる地域のことをもっと知ってほしいとの思いで、講師から外国の文化紹介や、言語文化サポーターの協力による日本文化体験などを行います。体験することで理解が深まるからです。

新型コロナウイルス感染拡大予防は、これからも続く新生活様式となるでしょう。それを意識し市民と協働で、相互理解が進むような事業を進めます。

2 情報の収集提供事業(定款第4条1項(2))SDGs



719千円

多言語情報

国際化の事業をよく知ってもらうために、協会のホームページ、チラシ等の多言語化を図ります。防災無線を使って発信される緊急放送「広報かしわざき」を、やさしい日本語、英語を始め、言語文化サポーターの協力で、他の外国語でも発信します。外国人がよくアクセスする政府機関から多言語情報が、発信されていますので、これらも協会のフェイスブック等で紹介します。地域住民へ、安心安全を伝えるためです。柏崎を世界に発信するための多言語情報への協力もします。

広報啓発

世界を意識した国際活動に興味を持ってもらうために、当協会の活動報告や事業周知をする、国際化協会ニュースを発行します。多文化共生理解を地域に広めることを目的としています。

3 活動協力育成(定款第4条1項(3))SDGs



1,418千円

人材育成

多文化共生社会の中での橋渡し役ができる人材を育成します。地域で頼りになる言語文化サポーターの育成を続け、活躍できる場を地域と連携して作ります。災害時外国人支援研修では、外国人をサポートする人材の研修も行います。情報が届かず、被災者になってしまう人々を少なくするためです。密にならないような環境で研修できるよう、仕組みも考えて実施します。

民間協力

誰にでも気軽にできる国際協力として、市民と共に取り組んでいる活動です。家にある外国コインをお寄せいただき、公益財団法人日本ユニセフ協会(日本で国際連合児童基金)に送り、世界の子どもたちの命と健康、権利を守る活動に役立ててもらっています。未使用の切手・はがき、書損じはがき及び使用済切手やテレフォンカードなどを集めています。それを、特定非営利活動法人シャプラニールに送り、主にバングラデシュやネパールの人々の生活向上を目指した活動にいかしています。また、国際関係を学ぶ団体やインバウンド推進の研修会などへの講師依頼に応じます。地域と連携し、あらゆる形態において、公正で平和に向かうための活動です。

4 地域協働支援(定款第4条1項(4))SDGs



1,586千円

生活相談

外国関連の生活相談に対応します。地域住民の人権を守ることにつながるからです。通訳を必要とする行政の手续や学校などに、依頼があれば通訳を派遣します。相談者の不安を取り除き、解決に向けて、より専門的な機関へつなぐ役割を担います。

日本語支援

日本語学習を続けることは、学習意欲が高まること、日本理解が進むこと、職業を得ることにつながるなど、地域での生活がより豊かになります。社会人、技能実習生、中学生、高校生を対象に、日本語教室を昼夜開講します。十分に感染予防の対策をとり、教室を準備します。この教室は一つの居場所となっていて、心の安定に繋がっています。講師は、日本語指導に十分な知識と経験を積んだ言語文化サポーターが務めています。また、柏崎市教育委員会から依頼を受けた場合、研修を受けた方を日本語指導員として推薦します。外国にルーツを持つ子どもたちが、質の高い教育にたどり着けるようにするためです。

法人管理業務

1,169千円

理事会、評議員会、監事会、執行役員会の開催及び法人の運営に関する事務局経費です。

公益財団法人柏崎地域国際化協会

令和3年度正味財産増減予算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

単位：円

科 目	公益目的事業	法人管理	令和3年度予算	令和2年度実績	令和元年度実績	平成30年度実績	平成29年度実績
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
その他の財産運用益	366,000	156,000	522,000	522,000	522,000	522,000	522,000
受取会費	0	0	0	6	4	4	2
団体賛助会費	410,000	0	410,000	421,000	458,000	487,000	448,000
個人賛助会費	340,000		340,000	340,000	350,000	380,000	340,000
	70,000		70,000	81,000	108,000	107,000	108,000
事業収益	1,435,000	0	1,435,000	540,533	1,684,893	1,820,104	1,457,740
国際協力貢献事業	200,000		200,000	48,000	299,000	311,120	265,540
語学文化事業	1,000,000		1,000,000	444,333	1,143,853	1,253,024	944,000
多文化理解事業	100,000		100,000	13,000	97,400	120,740	128,700
その他事業	135,000		135,000	35,200	144,640	135,220	119,500
受取補助金等	4,800,000	950,000	5,750,000	5,750,000	6,250,000	6,250,000	6,250,000
受取柏崎市負担金	4,750,000	950,000	5,700,000	5,700,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
民間団体委託金	50,000		50,000	50,000	250,000	250,000	250,000
受取寄付金等	5,000	0	5,000	0	35,000	0	0
雑収益	1,000	0	1,000	612	296	446	52,191
受取利息	500		500	412	296	294	491
雑収益	500		500	200	0	152	51,700
多文化共生事業積立引当金取崩収入	500,000	0	500,000	500,000	0	0	0
経常収益計	7,517,000	1,106,000	8,623,000	7,734,151	8,950,193	9,079,554	8,729,933
(2) 経常費用							
給与	3,514,000	702,800	4,216,800	4,128,000	4,128,000	4,128,000	4,128,000
臨時雇賃金	1,011,000	0	1,011,000	985,390	935,900	935,940	950,600
法定福利費	541,000	113,000	654,000	644,107	643,744	640,541	637,907
福利厚生費	28,000		28,000	24,873	25,080	27,782	16,702
退職給付金	0		0	0	0	0	0
退職給与引当金	60,000		60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
会議費	80,000	23,000	103,000	25,961	93,840	94,164	105,620
旅費交通費	180,000	4,000	184,000	40,010	117,710	112,460	352,770
通信運搬費	76,000	88,000	164,000	146,130	170,692	147,568	161,631
消耗品費	186,000	2,000	188,000	138,551	181,239	223,237	342,122
印刷製本費	152,000	2,000	154,000	102,798	312,697	424,797	186,460
賃借料	180,000	60,000	240,000	75,745	120,443	101,725	122,655
諸謝金	1,664,000		1,664,000	698,080	1,850,105	1,825,765	1,268,461
支払負担金	20,000		20,000	20,000	70,000	24,000	132,000
支払寄付金	5,000		5,000	0	0	0	0
雑費	3,000	86,000	89,000	47,100	69,812	72,950	113,929
地域国際化事業積立金繰入額	0		0	100,000	50,000	100,000	50,000
多文化共生事業積立金繰入額	0		0	500,000			
経常費用計	7,612,000	1,168,800	8,780,800	7,736,745	8,829,262	8,916,929	8,628,857
当期経常増減額	△ 95,000	△ 62,800	△ 157,800	△ 2,594	120,931	162,625	101,076

科目	公益目的事業	法人管理	令和3年度予算	令和2年度実績	令和元年度実績	平成30年度実績	平成29年度実績
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増益額	△ 95,000	△ 62,800	△ 157,800	△ 2,594	120,931	162,625	101,076
当期一般正味財産増減額	2,258,841	5,152,783	7,414,624	7,414,218	7,293,287	7,130,662	7,029,586
一般正味財産期首残高	2,163,841	5,089,983	7,253,824	7,411,624	7,414,218	7,293,287	7,130,662
一般正味財産期末残高							
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
指定正味財産期末残高	102,163,841	5,089,983	107,253,824	107,411,624	107,414,218	107,293,287	107,130,662
III 正味財産期末残高							

令和2（2020）事業年度決算に関する書類

令和2年度 事業報告

年度当初は、東京オリンピックの開催に伴う事前合宿など柏崎地域の多文化共生や国際化に関しても実りある一年となる見込みでしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、東京オリンピックが延期、緊急事態宣言の発令、柏崎市市民プラザの利用が制限されるなどの影響により、4月からの一部事業を中止せざるを得ませんでした。多言語情報の発信や生活相談、通訳依頼などに対応することに加え、9月以降は、安全に配慮し、参加人数を制限する、換気のできる部屋で開催するなどの対応をした上で、少しずつ講座を再開しました。

公益目的 地域国際化事業

1 国際化に関する事業

国際協力貢献

主に、通訳翻訳事業を実施しました。個人からの依頼は、出身国大使館に提出するための戸籍謄本など日本語の書類から英語への翻訳又はその逆などです。団体からは、生活相談対応時の通訳、セルビアとの水球絵画交流に関する翻訳、オリンピックホストタウン事業に関する連絡の翻訳、市役所新庁舎の部局名英語表記校正や災害時避難所看板の英語表記翻訳など、多岐にわたり依頼があり、これらに協力しました。言葉や文化の違いによる齟齬が生じないような取組をしました。

語学文化講座

当初の計画では、春期 10 回、秋期 12 回、冬期 8 回を実施する予定でしたが、市民プラザが臨時休館となり使用できず、春期を中止にしました。9月からの秋期講座は、安全に配慮し、受講生間の距離が取れ、換気のできる部屋を使用し、講座時間を 90 分から 1 時間に、9月から 11月に各月 2 回計 6 回の開催とすることとしました。結果、英語を 4 クラス、受講生は 31 名でした。1月からの冬期講座は、毎週開催、90 分の講座を各 8 回、英語 3 クラス、韓国語、中国語を各 1 クラスずつ実施し、受講生は 40 名でした。講師については、年齢性別によらず真に教授能力がある外国出身の方々に依頼しております。「初めて受講する」という方もおられ、男女問わず、幅広い年齢層の方から参加いただくことができました。言語を通して、講師の国の文化も学びました。

多文化理解

- ・国際理解セミナー・アジアを知る！「もっと知りたい韓国文化！」



公益財団法人新潟県国際交流協会の委託により 10 月 17 日に、新潟工科大学李虎奎准教授を講師に実施しました。韓国の文化を紹介いただくとともに、「ぜひ自分自身の地域の文化に関心を寄せ、住みよい街にするにはどうしたらよいか考えてみてほしい」という内容でした。当日は、市内外から 25 名の方から参加いただき、活発な質疑もあり、多文化理解が進む充実した講座となりました。

・多文化理解講座「北朝鮮を取り巻く情勢と拉致問題解決への道」

11月19日に、北朝鮮による拉致被害者でもある新潟産業大学蓮池薫准教授に講演いただきました。コロナ禍ということもあり、参加人数を制限し、安全を確保した上での会員や関係者を中心とした講演会として実施しました。今の北朝鮮を取り巻く情勢や、拉致されてから帰国するまでの様子、心情などを詳細に講演いただきました。参加者からは、「まだ帰国が実現していない拉致被害者とそのご家族の苦しみを思い、改めて帰国の早期実現を願うばかりだ。」「改めて拉致という解決していない問題を放置してはならないと感じた。」という感想をいただきました。



・多文化理解講座「バレンタインスイーツ」

料理を通して外国文化に触れる講座として、1月30日にニュージーランド出身の講師から、現地中学校の料理実習で作るチョコレートを使ったお菓子作りを紹介いただきました。安全のため、人数を制限し13名の参加で、その場で作ったものを持ち帰るという内容にしました。小学生から大人まで幅広い年代の方に参加いただき、ニュージーランドの英語の言い回し、バレンタインの習慣などの話も聞きました。

2 情報収集提供事業

多言語情報運営

ホームページやフェイスブックを通して情報を発信しました。新型コロナウイルス感染症関連では、政府機関、多文化共生に関わる団体（一般財団法人自治体国際化協会など）の多言語情報を発信しました。また、これらの情報に、柏崎の情報や解説をやさしい日本語で加えるなど、実際に読む方に伝わるよう工夫しました。7月16日の防災訓練として、広報かしわざきに合わせて、地震の際自分を守るための行動を8言語で発信しました。情報が得られないことによる住民の不安などを解消すべく発信に努めています。

広報啓発

会員募集の案内を4月に配布しました。団体28団体、個人は69名の加入をいただきました。3月には、協会ニュースを発行し、市内町内会回覧として配布しました。さらなる会員の加入につながるように、事業の報告にとどまらず、多文化共生や外国人住民との交流に興味を持てるような内容としました。

3 活動協力育成事業

人材育成

6月に開催予定であった「柏崎市水害対応総合防災訓練」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったので、多言語支援センター設置訓練も中止しました。例年、新潟市など他市で開催される日本語支援者のための講座など各種研修がオンラインで開催されることが多く、それらに職員や日本語支援者が参加し、研鑽に励みました。また、公益財団法人新潟県国際交流協会主催の災害時外国人サポーター養成講座に職員全員が参加しました。

民間協力

当協会窓口で収集しているものを、7月にそれぞれの団体へ送りました。

- ・ステナイ生活協力 送付先：特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、使用済プリンタトナー、テレホンカードなどを送り、総額32,734円の寄付となったと報告をいただきました。バングラディッシュなど南アジアの人びとの生活向上を目指した活動にいかされています。



- ・外国コイン募金 送付先：公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもたちの命と健康を守るための活動に使われており、寄付のお礼状をいただきました。



4 地域協働支援事業

生活相談

182件の相談が寄せられました。外国人住民からの相談内容は、新型コロナウイルス感染症に係る助成金に関することから滞在ビザに関する事、日常の困りごと（バスの乗り方、ごみの出し方）などまで多岐にわたりました。これらを含む個別の相談に関しては、人権保護に直結する事柄もあり、注意深く対応しました。また、柏崎市内の団体から外国人対応についてのアドバイスがほしいなど相談を受けることも増えてきました。

日本語支援

4月からの日本語教室については、中止としましたが、7月に入り、講師のフェイスシールド装着、換気ができる広い教室を使用し、講師、受講者ともに体温測定と手指消毒を義務付けるなど十分な対策を講じた上で、2回開催しました。受講生からは、再開を喜ぶ声が聞かれました。9月からの講座は昼と夜、30分短縮し、それぞれ1時間の講座として実施しました。冬期間は悪天候を考慮し、昼の講座のみ開講しました。受講生は、日本人配偶者や社会人などの12名が在籍しました。

柏崎市教育委員会からの支援要請に基づき、日本語指導ができる言語文化サポーターの紹介をしました。継続分も含め、7校（小学校5、中学校2）8名の外国にルーツを持つ児童生徒に対し、日本語支援者として3名が対応しました。

公益財団法人 柏崎地域国際化協会

令和2年度収支計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

単位：円

科 目	令和2年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	522,000	366,000	156,000	522,000	0
その他の財産運用益	0	2	4	6	△ 6
受取会費	450,000	421,000	0	421,000	29,000
団体賛助会費	350,000	340,000	0	340,000	10,000
個人賛助会費	100,000	81,000	0	81,000	19,000
事業収益	1,615,000	540,533	0	540,533	1,074,467
国際協力貢献事業	200,000	48,000	0	48,000	152,000
語学文化事業	1,200,000	444,333	0	444,333	755,667
多文化理解事業	80,000	13,000	0	13,000	67,000
その他事業	135,000	35,200	0	35,200	99,800
受取補助金等	5,750,000	4,800,000	950,000	5,750,000	0
受取柏崎市負担金	5,700,000	4,750,000	950,000	5,700,000	0
民間団体委託金	50,000	50,000	0	50,000	0
受取寄付金等	5,000	0	0	0	5,000
雑収益	1,000	612	0	612	388
受取利息	500	412	0	412	88
雑収益	500	200	0	200	300
地域国際化事業積立引当金取崩収入	500,000	500,000	0	500,000	0
経常収益計	8,843,000	6,628,147	1,106,004	7,734,151	1,108,849
(2) 経常費用					
給与	4,128,000	3,440,000	688,000	4,128,000	0
臨時雇賃金	990,000	985,390	0	985,390	4,610
法定福利費	645,000	525,859	118,248	644,107	893
福利厚生費	28,000	0	24,873	24,873	3,127
退職給付金	0	0	0	0	0
退職給与引当金繰入額	60,000	60,000	0	60,000	0
会議費	103,000	9,641	16,320	25,961	77,039
旅費交通費	112,000	36,540	3,470	40,010	71,990
通信運搬費	170,000	54,662	91,468	146,130	23,870
消耗品費	194,000	136,141	2,410	138,551	55,449
印刷製本費	148,000	101,656	1,142	102,798	45,202
貸借料	135,000	75,745	0	75,745	59,255
諸謝金	1,900,000	698,080	0	698,080	1,201,920
支払負担金	30,000	20,000	0	20,000	10,000
支払寄付金	5,000	0	0	0	5,000
雑費	95,000	0	47,100	47,100	47,900
地域国際化事業積立金繰入額	100,000	100,000	0	100,000	0
多文化共生事業積立金繰入額	8,843,000	6,683,714	1,053,031	500,000	△ 500,000
経常費用計	8,843,000	6,683,714	1,053,031	7,736,745	1,106,255
当期経常増減額	0	△ 55,567	52,973	△ 2,594	2,594

科 目	令和2年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	
当期経常外増益額	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 55,567	52,973	△ 2,594	
一般正味財産期首残高	7,414,218	2,314,408	5,099,810	7,414,218	
一般正味財産期末残高	7,414,218	2,258,841	5,152,783	7,411,624	2,594
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	107,414,218	102,258,841	5,152,783	107,411,624	2,594
III 正味財産期末残高					

貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	7,537,776	7,550,888	△ 13,112
前払費用	9,000	0	9,000
流動資産合計	7,546,776	7,550,888	△ 4,112
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
地域国際化事業積立預金	0	400,000	△ 400,000
多文化共生事業積立金預金	500,000	0	500,000
退職給与引当預金	480,005	420,005	60,000
特定資産計	980,005	820,005	160,000
その他			
敷金	18,000	0	18,000
その他の固定資産計	18,000	0	18,000
固定資産合計	100,998,005	100,820,005	178,000
資産合計	108,544,781	108,370,893	173,888
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	153,152	125,670	27,482
前受金	0	11,000	△ 11,000
流動負債合計	153,152	136,670	16,482
2 固定負債			
地域国際化事業積立引当金	0	400,000	△ 400,000
多文化共生事業積立引当金	500,000	0	500,000
退職給与引当金	480,005	420,005	60,000
固定負債合計	980,005	820,005	160,000
負債合計	1,133,157	956,675	176,482
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,411,624	7,414,218	△ 2,594
(うち当期正味財産増減額)	△ 2,594	120,931	△ 123,525
正味財産合計	107,411,624	107,414,218	△ 2,594
負債及び正味財産合計	108,544,781	108,370,893	173,888

貸借対照表内訳表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	2,271,901	5,265,875	7,537,776
前払費用	0	9,000	9,000
流動資産合計	2,271,901	5,274,875	7,546,776
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
多文化共生事業積立預金	500,000	0	500,000
退職給与引当預金	0	480,005	480,005
特定資産計	500,000	480,005	980,005
その他			
敷金	0	18,000	18,000
その他の固定資産計	0	18,000	18,000
固定資産合計	100,500,000	498,005	100,998,005
資産合計	102,771,901	5,772,880	108,544,781
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	13,060	140,092	153,152
流動負債合計	13,060	140,092	153,152
2 固定負債			
多文化共生事業積立引当金	500,000	0	500,000
退職給与引当金	0	480,005	480,005
固定負債合計	500,000	480,005	980,005
負債合計	513,060	620,097	1,133,157
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,258,841	5,152,783	7,411,624
正味財産合計	102,258,841	5,152,783	107,411,624
負債及び正味財産合計	102,771,901	5,772,880	108,544,781

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	522,000	522,000	0
その他の財産運用益			
その他の財産受取利息	6	4	2
受取会費			
賛助会員会費	421,000	458,000	△ 37,000
事業収益			
国際化事業収益	540,533	1,684,893	△ 1,144,360
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	35,000	△ 35,000
雑収益			
受取利息	412	296	116
雑収益	200	0	200
地域国際化事業積立引当金取崩収入	500,000	0	500,000
経常収益計	7,734,151	8,950,193	△ 1,216,042
(2) 経常費用			
給与	4,128,000	4,128,000	0
臨時雇賃金	985,390	935,900	49,490
法定福利費	644,107	643,744	363
福利厚生費	24,873	25,080	△ 207
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	25,961	93,840	△ 67,879
旅費交通費	40,010	117,710	△ 77,700
通信運搬費	146,130	170,692	△ 24,562
消耗品費	138,551	181,239	△ 42,688
印刷製本費	102,798	312,697	△ 209,899
賃借料	75,745	120,443	△ 44,698
諸謝金	698,080	1,850,105	△ 1,152,025
支払負担金	20,000	70,000	△ 50,000
雑費	47,100	69,812	△ 22,712
地域国際化事業積立金繰入額	100,000	50,000	50,000
多文化共生事業積立金繰入額	500,000	0	500,000
経常費用計	7,736,745	8,829,262	△ 1,092,517
当期経常増減額	△ 2,594	120,931	△ 123,525
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,594	120,931	△ 123,525
一般正味財産期首残高	7,414,218	7,293,287	120,931
一般正味財産期末残高	7,411,624	7,414,218	△ 2,594
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	5,750,000	6,250,000	△ 500,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,411,624	107,414,218	△ 2,594

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	366,000	156,000	522,000
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	2	4	6
受取会費			
賛助会員会費	421,000	0	421,000
事業収益			
国際化事業収益	540,533	0	540,533
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	4,800,000	950,000	5,750,000
受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	412	0	412
雑収益	200	0	200
地域国際化事業積立引当金取崩収入	500,000	0	500,000
経常収益計	6,628,147	1,106,004	7,734,151
(2) 経常費用			
給与	3,440,000	688,000	4,128,000
臨時雇賃金	985,390	0	985,390
法定福利費	525,859	118,248	644,107
福利厚生費	0	24,873	24,873
退職給与引当金繰入額	0	60,000	60,000
会議費	9,641	16,320	25,961
旅費交通費	36,540	3,470	40,010
通信運搬費	54,662	91,468	146,130
消耗品費	136,141	2,410	138,551
印刷製本費	101,656	1,142	102,798
賃借料	75,745	0	75,745
諸謝金	698,080	0	698,080
支払負担金	20,000	0	20,000
雑費	0	47,100	47,100
地域国際化事業積立金繰入額	100,000	0	100,000
多文化共生事業積立金繰入額	500,000	0	500,000
経常費用計	6,683,714	1,053,031	7,736,745
当期経常増減額	△ 55,567	52,973	△ 2,594
当期一般正味財産増減額	△ 55,567	52,973	△ 2,594
一般正味財産期首残高	2,314,408	5,099,810	7,414,218
一般正味財産期末残高	2,258,841	5,152,783	7,411,624
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	4,750,000	950,000	5,700,000
民間団体委託金	50,000	0	50,000
一般正味財産への振替額	4,800,000	950,000	5,750,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,258,841	5,152,783	107,411,624

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
流動資産				
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,707,127
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,830,649
	前払費用	遠藤 聡子	4月分駐車場料金として	9,000
流動資産合計				7,546,776
固定資産				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50,000,000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
その他の 財産	多文化共生事業積立預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	多文化共生事業実施のための積立金	500,000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	480,005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 期間:令和3年4月1日から令和5年3月31日まで	18,000
固定資産合計				100,998,005
資産合計				108,544,781
流動負債				
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料等未払のもの	153,152
流動負債合計				153,152
固定負債				
	多文化共生事業積立引当金		多文化共生事業積立引当金	500,000
	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	480,005
固定負債合計				980,005
負債合計				1,133,157
正味財産				107,411,624

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券は、取得価格を採用している。
- (2) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金及び前払費用、敷金、預り金を含めている。

2 会計方針

新公益法人会計基準によっている。

3 基本財産・その他の財産(特定資産)・その他の財産(その他)の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
その他の財産(特定資産)				
地域国際化事業積立預金	400,000	100,000	500,000	0
退職給与引当預金	420,005	60,000	0	480,005
多文化共生事業積立預金	0	500,000	0	500,000
小 計	820,005	660,000	500,000	980,005
その他の財産(その他)				
敷金	0	18,000	0	18,000
小 計	0	18,000	0	18,000
合 計	100,820,005	678,000	500,000	100,998,005

4 担保に供している資産

該当事項なし

5 減価償却資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項なし

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高

該当事項なし

7 保証債務

該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

*評価額は、令和3年3月31日時点における証券会社の評価・算定価格である。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	*評価額	評価損益
共同地方債 139回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,960,000	960,000
共同地方債 149回共同発行市場公募地方債	50,000,000	51,065,600	1,065,600
合 計	100,000,000	102,025,600	2,025,600

9 負担金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
負担金	柏崎市	0	5,700,000	5,700,000	0
委託金	(公財)新潟県国際交流協会	0	50,000	50,000	0
合 計		0	5,750,000	5,750,000	0

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業費への充当額	4,800,000
管理費への充当額	950,000
合 計	5,750,000

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

以上

公益財団法人柏崎地域国際化協会役員等名簿

令和3年6月1日現在

役職名	氏名
(任期：令和3年5月31日から令和5年定時評議員会終結の時まで)	
理事長	三井田史夫
副理事長	石黒好夫
常務理事	山本睦子
理事	赤堀秋生
理事	小林伸子
理事	西川綾子
理事	長澤智信
理事	中村藤浩
理事	蓮池薫
理事	深田佳
理事	李虎奎

(任期：令和元年5月28日から令和5年定時評議員会終結の時まで)	
監事	大矢淳二
監事	小熊栄子

(任期：令和元年5月28日から令和5年定時評議員会終結の時まで)	
評議員会長	関井忠和
評議員	石垣百合子
評議員	佐藤尚子
評議員	芝井郁雄
評議員	野村秀子
評議員	細山巧
評議員	安野広明

(任期：令和3年5月31日から令和7年定時評議員会終結の時まで)	
評議員	長野大拓